

大学院

担当 風みどり

◇解答者総数 31名

◇全題正解者 8名

誤無ABC平均

⑦佐藤和義 1 1 20 7 0 2 74

⑧真島隆志 5 18 8 0 0 3 00

◇院7 入選18回

木更津市 佐藤和義

一 二 三 四 五 六 七 八 九

9	8	7	6	5	4	3	2	1
				香				王
		歩	歩					
				香				
		歩	歩		香	桂		

持駒 金銀香

14香、12飛合、同香成、同玉、

15飛①14角合、同飛、13飛合、
②11飛成、21角打、22龍、41玉、

③同飛成、同玉、15飛、14角合、
42金、同金、同と、同玉、

22角、同玉、33歩成、31玉、
33龍、51玉、53龍、52歩合、

32銀、同角④22金、41玉、
62金、41玉、52金、31玉、

32金、52玉、42金⑤61玉、
42金、22玉、32金、同角で

51金⑥71玉、61金、81玉、
不詰。

71金、同玉、11飛成⑦61香合、
⑧同金は同と、同玉、24角以下。

53角⑨62香打、同角成、同玉、
⑩同玉は11飛成、51角合、52角

22龍、71玉、72龍、同玉、
同玉、53金、61玉、51龍

73金、71玉、83桂、81玉、
同玉、73角以下。

91桂成、同玉、93香、81玉、
⑪61桂合は同龍、同玉、73桂

92香成、同玉、83歩成、91玉、
71玉、93角以下。

82と迄53手。
⑫61角合は53角、62香合、61龍、

⑬桂合は23銀、同玉、33歩成、
同玉、62角成以下。

24玉、14金迄。
⑭62桂合は同角成、同玉、73金、

⑮22金は同玉、33歩成、同飛、
71玉、83桂以下。

同桂成、同玉、53飛、43香合、
☆盤面一桁の小駒図式。手が

15角、24歩合、同角、34玉、
かりは33の地点に歩が成れ

13角成、45玉、56銀、36玉、
るといふこと。これだけの

47銀、同玉、57飛成、38玉、
舞台装置でいかなる芸を見

39歩、49玉、44飛、同香で
せてくれるのか。

☆初手香に対して飛合は看寿

の裸玉でお馴染みの32に利
かせる意味。13角合は？同
香と取れば、22玉/34歩/
角金銀の有名な収束だ。

☆飛車を取つてからが本番だ。
23銀から33歩成をみて15飛
が限定打。14に捨合が必要
だが33歩成、24玉、25金を

防いで金銀角が登場する。
角が妥当だろう。同飛と近
づけておいて13合(23玉に
は41角がびつたり)。22金、

同玉、33歩成があるので、
また飛合だ。
☆切つて捨てて再び15飛。今
度は22角、同玉、33歩成が

ある。32に利かせて14角合
が決定するわけだ。これは
取るわけにはいかないの
で、22角から左辺に追うしかな

い。ここ迄が主眼の合駒ブ
ロック。香の藁稽長者物語。

☆今年の、いやこ数年の最

難解作との感想。その理由
は如何に。幸い筆者の手に
には作者の詳解がある。是

を頼りにいざ解明に挑まん

☆直感の69香に対し、63歩合
から順に考えよう。これは

72飛で簡単だ。

☆では64歩合は。72飛、53玉

42飛成、63玉、41馬、54玉
56香、55合、63角迄。

図1 変化63角まで

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
銀					馬				一
	歩								二
				角					三
皇	糸	香	糸	王			歩		四
				香					五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

☆では、2手目65桂合だと:
72飛、53玉、42飛成、63玉、

41馬、64玉、53角、55玉、
44龍、56玉、58香、57合、
23馬迄。

図2 変化23馬まで

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
銀									一
	歩								二
				角					三
皇	糸	香		龍			歩		四
				王			銀		五
				香					六
									七
									八
									九

持駒 なし

☆次は66桂合だ。72飛、53玉、
42飛成、63玉、41馬、64玉。
今度は62龍から大海に追い
出すしかない。(72飛から
62龍までを甲とする)54玉
と粘るが63馬、65玉に73馬、
76玉で66龍が実現できた。
87玉に43角、88玉、86龍、
79玉、46馬で次図になる。

☆以下は容易。これで2手目

図3 変化46馬まで

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
銀									一
	歩								二
				角					三
皇	糸	香					歩		四
				龍			馬		五
									六
									七
									八
									九

持駒 桂香

66桂も不成立と判った。
☆次は67歩。甲の攻めに今度
は66龍がないので55玉と逃
げる。73角、44玉、64龍、
35玉、春24龍、45玉、34龍、
56玉、36龍、57玉、59香。
☆67が桂でも同桂成、46角成
で以下容易だ。結論。2手
目は58合駒。すぐに取られ
る駒なので歩に決定。
☆同香と取って4手目の応手
を考える。図3、4を見れ
ば68香の形では詰まないの

図4 変化59香まで

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
銀					馬				一
	歩								二
				角					三
皇	糸	香							四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 桂

で、正解は67合か66合であ
るが……。持駒に1歩増え
ているのがどう影響するか。
☆67歩合だと先の手順中、春
24龍の代わりに34龍として
右辺に押し込む事が可能だ。
以下、26玉、37角成、17玉
18歩と68で入手した1歩が
モノを言って早詰になる。
☆したがって4手目は66合と
わかる。しかし、歩か桂か
この判別が難しい。
☆66合だと図3に至る攻めで

は詰まないの途中で手を変えなければならぬ。甲、54玉、63馬、65玉に先程は76馬で詰んだが、下辺にも利きをつくって45馬と攻める。64合の一手だが、この合駒に差異が現れる。66の合駒が歩だったら64は桂合だ(図5)。逆に66桂だったら64歩合が可能になる(図6)。

図5 変化64桂合まで

	9	8	7	6	5	4	3	2	1
銀									
持駒	桂		龍					歩	
角香歩	香		香	桂				桂	
			香	王		馬		銀	
				香					

☆いずれも43角、75玉、64龍
同玉、54馬、74玉、52角成

☆持駒も豊富になってきたの
いずれにしても同香。

☆64銀を64同香と取って最後の63合。銀が持駒にあるので、歩合などでは73銀や71

が桂桂だと95玉と逃げられ

図6 紛れ64歩合まで

	9	8	7	6	5	4	3	2	1
銀									
持駒	桂		龍					歩	
角香歩	香		香	桂				桂	
			香	王		馬		銀	
				香					

図7 7手目65同香まで

	9	8	7	6	5	4	3	2	1
銀									
持駒	桂		王		香			歩	
飛桂桂歩	香		香					桂	
				香				銀	

図8 10手目63銀合まで

	9	8	7	6	5	4	3	2	1
銀									
持駒	桂		王		香			歩	
飛銀桂桂歩	香		香					桂	
				香				銀	

銀で簡単。53玉に54飛を防いでやはり63銀合が正解だ。

または飛銀桂桂歩

83玉、65馬、74歩合と攻める事になる。ここで桂馬が持駒にあれば75桂以下詰むなければ逃れた。したがって4手目は先に66桂とするのが正解と判る。
☆次の応手は65合だ。図1を見れば65をとばして64に合駒することは無効。やはり桂か歩だが、この判別も難問だ。保留して先に進める。

☆この局面で先程保留して置いた65の合駒が決定する。ここから72飛と攻める。53玉、42飛成、64玉、66香、74玉、65馬、85玉、86歩、同玉、87銀で次図。

☆ここで持駒が桂歩だったら97玉と逃げるしかなく、98歩以下詰む。ところが持駒が桂桂だと95玉と逃げられ

図9 変化／紛れ87銀まで

	9	8	7	6	5	4	3	2	1
銀					馬				
	香			香					
	香			馬			香		
		王		香				香	
		銀							

一 二 三 四 五 六 七 八 九

持駒 桂歩／桂桂

て手が無い。これで6手目の合駒は桂馬が正解と決定する。

☆これでメインテーマの5連合が確定した。歩桂桂銀銀である。

☆連合テーマの作品は歩の7連合がすでに存在する。桂の4連合、香の4連合、銀の4連合も有名だ。しかし筆者の勉強不足か、3種類の駒が5連続で出現するというのは初めて見た。空前

の作品ではなかるうか。

☆4連合や歩の7連合のように、単一の意味付けでは実現できそうになく、膨大な変化と紛れの切り分けが必然となる。想像するだに目眩がしそうだ。この作者にしても気力体力が充実しているからこそ仕上げる事ができた作品であろう。

☆しかも、まだまだここからが難しい。5連合を読み切りながら、無解となつた方も大勢いるようだ。

某氏―69香として68歩、66桂、65桂、64銀、63銀の連続合と思うんですが、途中で手を変えるんでしょうかね。

☆図8から72飛は不詰なので同香成と取る。同玉は75桂以下なので同角(図10)。ここからの4手が本局最大

の難手なのだ。

図10 12手目63同角まで

	9	8	7	6	5	4	3	2	1
銀									
	香			王					
	香			馬					
		香							

一 二 三 四 五 六 七 八 九

持駒 飛銀桂桂桂歩

☆正解は73香成、同玉、82銀生、62玉。

☆持駒に桂馬が補充された。こう書けば明白な利益だが、何度も72飛からの変化を読まされた後に、その要の香を成り捨てるのは絶妙手だ。正解を見れば91銀の有効利用という視点に気付くが、既に総ての配置駒は充分すぎるほど活躍しているのだ。永島勝利―69香に対する合駒

調べに3日近くかかったのに、それは入り口にすぎず、それまでの72飛を用いた順では詰まず、6筋の合駒を取らない順に際どいものも多いので、そちらを延々読まされました。また飛を手元に置いた攻めを考えても55飛く33馬では1歩足りず、56飛として中合の歩を稼ごうとしても受けてくれず、

きわどく詰まないの、一瞬あきらめかけましたが、ふいに桂が1枚足りないのだと気づき、左辺の配置の意味を悟り解決しました。☆さらに82銀に同玉の変化。これがとびきり難解複雑だ。変化①を参照されたし。斎藤博久―94の香を取る筋が本筋かと思つたが、知力・体力が充実している作者は

右辺の不動と思わせる駒を働かせるという素晴らしい手順を用意していた。

☆玉方の受け手がテーマの作品は、「攻方に好手が無い」ということになりがちだ。

本作に関しては絶対にそんなことは言わせん、という作者の魂がこもった4手だ。☆ここからは収束。作意を始

めから並べていただこう。

① 69香、68歩合、同香② 66桂合、

同香③ 65桂合、同香、64銀合、

同香、63銀合、同香成、同角、

73香成、同玉、82銀生④ 62玉、

73銀打、53玉、56飛⑤ 44玉、

33銀、35玉、24銀引生、25玉、

37桂、24玉、42馬、33銀合、

25香、13玉、14歩、12玉、

24桂、同銀、13歩成、同銀、

23香成、同玉、53飛成、12玉、

13龍、同玉、25桂打、14玉、

26桂、同と、15銀、23玉、

33馬、12玉、13桂成、同玉、

24銀、12玉、23銀成、11玉、

21歩成、同玉、22成銀迄59手。

① 72飛は甲、55玉、73角、44玉、

64龍、54歩合、62角成、45玉、

49香、47歩合以下逃れ。

② 66歩合は本文74歩合以下75

桂、93玉、82銀生、同玉、

83桂成以下。

③ 65歩合は本文88玉以下68龍、

99玉、79龍、89金合、同龍、

同玉、56馬以下。

④ 同玉は83銀で

① 93玉は94銀成、同玉、98香、

96歩合、91飛、93香合、

76馬、85飛合、96香、83玉、

93飛成、72玉、61銀、62玉、

63龍、同玉、81角以下。

② 同玉は65馬、72玉、64桂、

62玉、74桂、53玉、54銀、

同角、52飛以下。

③ 71玉は72銀打、同角、同

銀成、同玉、54馬、63銀合、

81角以下。

⑤ 55歩合は同飛、44玉、33馬、

同玉、53飛成、43飛合、44銀、

22玉、34桂、11玉、12歩、

21玉、33桂以下。

小川悦勇―変化が絶大でこん

な難しい中合作品に始めて

出会う。巧妙で難解な傑作。

和田登―すばらしい作。序奏

の中合の連続は信じられない

手順

福村努―とにかく手が広く、

詰みそうな筋がいくつもあ

る。詰将棋十数局分を解い

た印象を持った。作意手順

の駒捌きは絶妙である。

加賀孝志―フウ―疲れた。

池田俊哉―どちらかと言うと

「嫌い」となる作品だが、

まるまる1ヶ月苦しませて

くれた作品としては、今期
一番印象に残る作品

今川健―難しい、とにかく

難解、難しい。特に前半の

15手目あたりまでが難しい。

巧妙で難解、傑作誕生です。

作者―主題は初手最遠打とそ

れに対する5連続合口です。

もっと短く纏めたかったの

ですが、できるだけ上部に

駒を置きたくなかったので

この図となりました。

☆なんと静かなコメントか。

この作家にはこれからも注

目だ。久々にオールAを獲

得した傑作であった。

【全題正解者】

池田俊哉 今川健 小川悦勇

加賀孝志 斎藤博久 永島勝利

福村 努 和田 登

【当選者】 誌代1ヵ月分入帖

出崎 守